



①三芳中学校体育館耐震工事（8月24日）



②前田社中「因幡の白兎」（8月31日）



③熱血！柔道教室 銀メダル西田優香選手（9月17日）



④敬老会で演奏する三芳中吹奏楽部（9月19日）



中央公民館建設予定地(奥の建物は三芳中学校)

中央公民館は1965年に建設され、築45年を越えています。老朽化が進む中、三芳町の公共施設の整備計画では、給食センターに次いで2番目に位置づけられています。3月11日の東日本大震災を受け、天井の空調設備も破損し、構造上からも継続使用が難しくなっています。さらに、建設を前に提としていたため、対震設計も対震補強もしていませんでした。

すでに今後の中央公民館について、まちづくり懇話会、中央、竹間沢、藤久保3館での利用者の集い、中央公民館のサークル、団体の皆さんと活動現場での意見交換、そして意見交換型世論調査等で広

くご意見をお聞きし、アンケート調査も実施して参りました。  
9月定例議会での一般質問に答える中で、今までの意見聴取やアンケート結果を踏まえ、今後の方針性を示させていただきました。  
先ずは、利用者の生命の安全を考え、来年3月に閉館いたします。そして、中央公民館については、総合的に判断し、給食センターと併設で中央公民館建設予定地（三芳中学校と三芳小学校の間の駐車場）に建設したいと考えます。

### ◆5つの建設と併設の理由

①都市計画マスタートップランの中で地域拠点になつております。三芳町全体のバランスを考え必要  
②大勢の利用者や地域の方々の切実な要望がある  
③併設することによつて、別々に建設するより用地取得など財政的負担は軽減される  
④厳しい財政状況の中で多くの行政需要があり、老朽化した給食センターの建て替えは急務。今年度は、計画では用地選定の年になつた

◆今後の予定  
すでに、府舎内に検討部会を設置し、これまでの中央公民館建築計画の見直し、併設を前提にした施設利用の研究、用地の建築確認上の課題、財政フレームの再検討などを行つています。  
また、給食センター、中央公民館の併設施設の内容を検討すべく、三芳町地域拠点施設建築計画策定委員会を設置し、社会教育関係者等を委員に建築計画を検討・協議していきます。  
ホームページ等でお知らせするとともに、住民の皆さんの意見もいただきながら、今年度末から来年度にかけて基本設計、実施設計を行ひ、進めていく考えであります。

パリで開催された世界柔道選手権出場の52kg以下級銀メダルの西田優香選手、70kg以下級の銅メダルの國原頼子選手、78kg以下の池田ひとみ選手の3選手も指導にあたつてくれました。得意技の解説や子供達との乱取りなど貴重なお話を聞けました。この中から未来のオリンピック選手が出るといいですね。

**④三芳町社会福祉協議会主催の敬老会が開催されました。**

今年は、70歳になられた方が5511名、75歳以上の方も含め、3309名の方々にご案内しました。金婚夫婦該当者は39組。午前、午後3部構成で地区ごとに別れて

ご参加いただきました。  
アトラクションでは前田社中里神楽保存会の里神楽、三芳中学校吹奏楽部の演奏がありました。三芳中の吹奏楽部は、昨年、再復活したばかり。水戸黄門や演歌、童謡など、お年寄りが聞き慣れた曲目を演奏してくれました。大変素晴らしい演奏でした。

アンコールの声も会場から湧き上がり、大変喜んでいたいようでした。これまで日本やこの地域の発展のために尽くしてこられた、お年寄りの皆さんに心から感謝と敬意を表すとともに祝いを申しあげます。

# ★中央公民館、給食センター建設へ

# ★公共的な場所の空間放射線量測定

地は決まっておらず、建設予定地に併設することにより

2つの建設課題の早期解決となる。また、この機会を逸したら一層建設は難しくなる可能性がある

(5)給食センターの立地としても

小学校、中学校の間にあり、食育や災害時の拠点など多様で重要な役割を果たすことができる

ことになりました。これからについては、国や県の動向を注視し、近隣の自治体とも連携をはかりながら、可能なことから一つひとつ対応して参りたいと考えています。

町では、これまで保育所や小学校など13か所、そして10月からは新たな子ども広場等10か所を追加し、空間放射線量測定を実施しています。

### ◆今後の予定

すでに、府舎内に検討部会を設置し、これまでの中央公民館建築計画の見直し、併設を前提にした施設利用の研究、用地の建築確認上の課題、財政フレームの再検討などを行つています。

また、給食センター、中央公民館の併設施設の内容を検討すべく、三芳町地域拠点施設建築計画策定委員会を設置し、社会教育関係者等を委員に建築計画を検討・協議していきます。

ホームページ等でお知らせするとともに、住民の皆さんの意見もいただきながら、今年度末から来年度にかけて基本設計、実施設計を行い、進めていく考えであります。

今后、公共施設、集会所や通学路など公共的な場所に限りますが、住民の皆さんから測定の希望がある場合、入間東部消防組合本部から借用する放射線量測定器を使用して、町の職員が測定を行つて行います。お問い合わせは、三芳町役場環境産業課まで(0458-0019)

※なお、測定日時をあらかじめ指定することはできませんので、ご了承ください。

# ★フォト通信

## ①今年度は、三芳中学校屋内運動場・柔剣道場の耐震補強工事、竹間沢小学校校舎の耐震補強工事を

行っています。それぞの工事の進捗状況を観察しました。

すでに竹小の工事は完了。三芳中は、屋根部分を撤去し、校庭で組み立てた屋根を新たに設置。工事期間は10月一杯で、利用できるのは11月1日からです。これで、公立学校施設耐震化率は、今年度末で80%になり、24年度末で88%、25年度末で100%になる予定です。

**②第5回 楽しくて、わかりやすい「江戸里神楽公演」**が埼玉会館で開催されました。当町の前田社

で今年度は、三芳中学校屋内運動場・柔剣道場の耐震補強工事、竹間沢小学校校舎の耐震補強工事を行っています。それぞの工事の進捗状況を観察しました。

すでに竹小の工事は完了。三芳中は、屋根部分を撤去し、校庭で組み立てた屋根を新たに設置。工事期間は10月一杯で、利用できるのは11月1日からです。これで、公立学校施設耐震化率は、今年度末で80%になり、24年度末で88%、25年度末で100%になる予定です。

**③三芳町社会福祉協議会主催の柔道教室による熱血！三芳町柔道教室**が総合体育館で開催されました。指定管理者の東京ドーム・トルソリーグループが主催、地元淑徳大学女子柔道部の野瀬監督はじめ柔道部員、そして、8月に

中神楽保存会が出演し、公演機会が少ない貴重な「因幡の白兎」が演じられました。誰でも知っている物語で楽しくわかりやすく、しかも、神楽の「おかめ」や「ひよつとこ」の舞いもあり、神楽や伝統芸能に親しむきっかけには非常に良い演目だと思います。あらためて、こうした伝統文化をしっかりと守り後世に伝えていかなければいけないと感じました。

**④三芳町社会福祉協議会主催の敬老会**が開催されました。

今年は、70歳になられた方が5511名、75歳以上の方も含め、3309名の方々にご案内しました。金婚夫婦該当者は39組。午前、午後3部構成で地区ごとに別れて

9月定例議会では、議員の皆さんから一般質問で、また住民の皆さんからも請願等、福島原発事故に伴う放射性物質の対応について貴重なご意見を多数いただきました。

これらについては、国や県の動向を注視し、近隣の自治体とも連携をはかりながら、可能なこと

から一つひとつ対応して参りたいと考えています。

町では、これまで保育所や小学校など13か所、そして10月からは新たな子ども広場等10か所を追加し、空間放射線量測定を実施しています。

また、この機会を逸したら一層建設は難しくなる可能性がある

ことになりました。これからについては、国や県の動向を注視し、近隣の自治体とも連携をはかりながら、可能なこと

から一つひとつ対応して参りたいと考えています。